

スマートフォン内線化ソリューション

リコー モバイル テレフォニー サービスの ご紹介

どこにいても内線通話ができる電話サービス

「リコー モバイル テレフォニー サービス」は、ビジネスホンとスマートフォンを連携することで、どこにいても内線通話ができるスマートフォン内線化ソリューションをご提供するサービスです。

✓ スマートフォンの活用！

- ・個人・法人契約に関わらずご利用中のスマートフォンがそのまま利用可能 (BYOD対応)



✓ お客様満足度UP！

- お客様から大切な電話をダイレクトにキャッチ

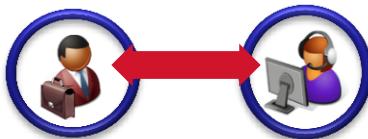


外出先



✓ 導入・運用も安心！

- 導入から運用までサポート。
スマートフォンを紛失してしまった際には、遠隔操作で端末ロックを実施



- 主装置
- モバイル内線アダプター
- ルーター

✓ 業務をスマートに！

- 取次業務が軽減され、
本来業務に集中することで
業務効率向上が図れます



✓ 外線通話をスマートに！

- 外出先などから社外へ電話するときも、
固定電話と同じ料金で通話が可能
(8円/3分)



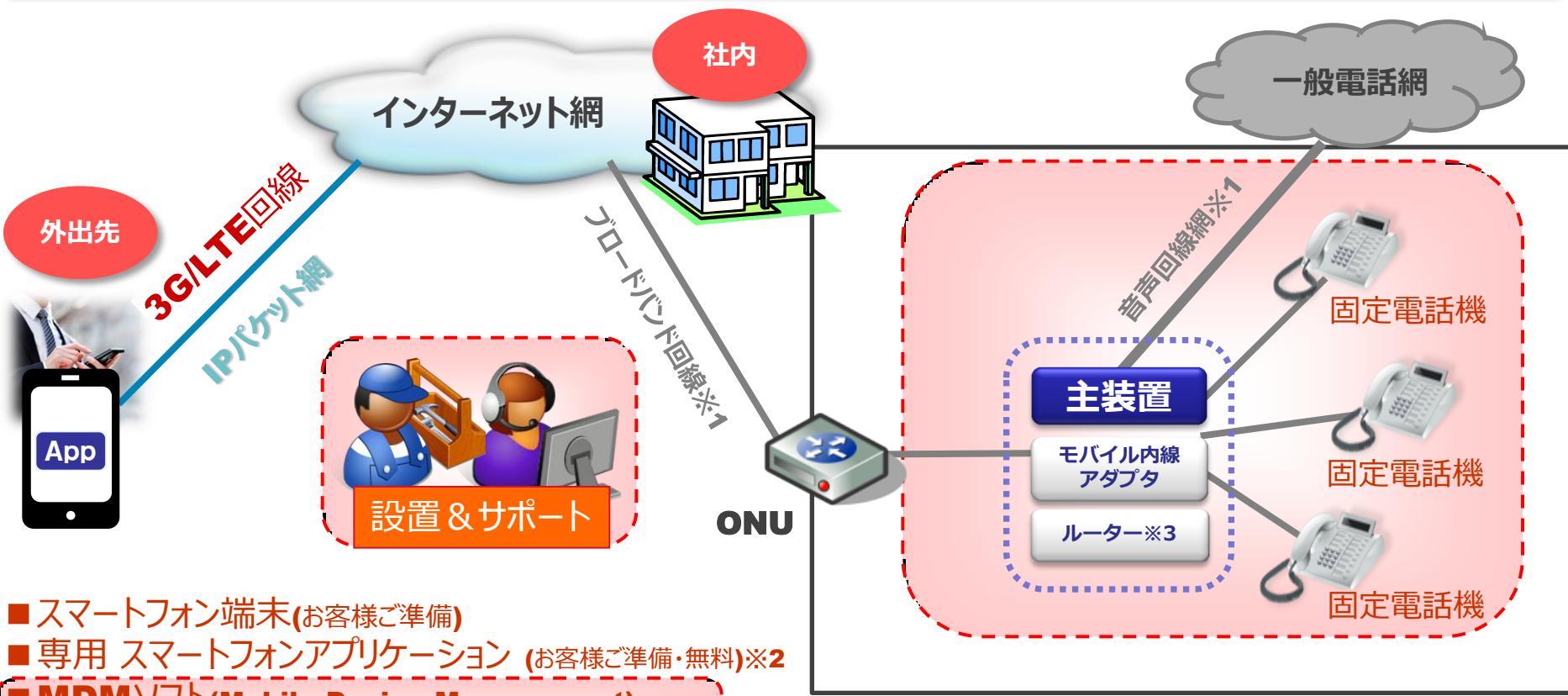
✓ 内線通話をスマートに！

- 外出先から社内への通話も、
社員間のスマートフォンでの通話も
内線電話は全国どこでも0円



■ スマートフォン内線化ソリューションとは？

ビジネスホンに「モバイル内線アダプタ」を接続し、専用スマートフォンアプリを利用することで内線通話を実現します。導入から運用保守までをワンストップサポート。
ヘルプデスク、スマートフォン情報管理ツール（MDMソフト）を併せてご提供します。



※1. ブロードバンド回線、音声回線は本サービスの提供には含みません。

※2. iOSはApp Store、AndroidはGoogle Play™より無料でダウンロードいただけます。

※3. モデルにより構成内容が異なります。

ビジネスチャンスを逃さない！

いつでも、どこにいても大切な電話をキャッチ。ビジネスチャンスを逃しません！

Before

自席に固定電話だけの場合
席を離れた時は電話が取れない。
折返しや、伝言確認に手間が掛かる。



After

社内、外出先問わず、固定電話の番号ひとつでダイレクトに受発信！



■ 固定電話資産をスリムに！

外出・離席の多い社員はスマホをフル活用！資産のスリム化が図れます。

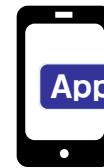
Before

社員には固定電話が割り当てられている。
離席の多い社員にはPHS配布も検討したいが…インフラ整備が必要。



After

外出・離席の多い社員は固定電話、コードレス電話、PHS等は使わずスマートフォンで受発信！
資産の購入量を減らせます。



資産スリム化！

内線通話料をスリムに！

社外にいても、社員間通話はいつでも内線通話は¥ 0！コスト圧縮に！

Before

固定電話と携帯電話の内線化がされていないため、通話コストがかさむ。



After

スマートフォンを内線利用できるためどこにいても社員間通話は無料

社員間通話はどこにいても



※ NTT加入権電話からNTTマイラインで通話した場合の金額を想定。
携帯電話はNTTdocomoを想定。

ダウンタイムを最小限に抑える安心のサポート体制で、お客様のビジネスをご支援！



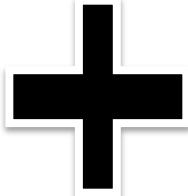
導入から運用までしっかりサポート



セットアップサポート

本サービスでご利用いただく機器や
サービスを、誰でもすぐ使える状態に！

リコーでは、導入の際の初期設定を有償で
代行するサービスをご提供しています。
お客様にご負担をかけずシステム導入を
サポートいたします。



アフターサポート

万一のときも迅速なケアで
業務のタイムロスを最小限に！

ビジネスホン、モバイル内線アダプタに関する
ワンストップ保守サポートだけでなく、万が一、
スマートフォンを紛失した際にも、遠隔で端末
ロックをおこないます。



リコー モバイル テレフォニー サービスでは、スマートフォンの情報管理・セキュリティ設定を行なうことができる
「MDM(Mobile Device Management)ツール」をお客様にご提供いたします。
万が一スマートフォンを紛失した際には、24時間365日、専用窓口で遠隔端末ロックに対応いたします。

スマートフォン内線化による改善事例

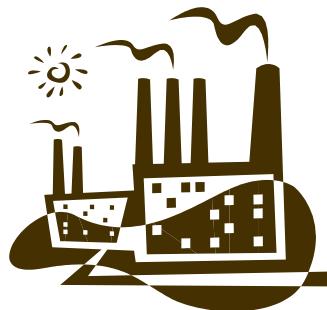
改善事例①

お客様業種：食品製造業

きっかけ：事務所移転を機にビジネスホンの更改を検討。
約400坪ある工場内での情報共有と、外回りが多い社長・専務の
携帯電話通話料を削減したいとのご要望有り。

導入内容：敷地内はデジタルコードレス電話で内線電話、外出の多い社長と専務は
スマートフォンをビジネスホン内線子機として常に利用する形式を採用。

導入効果：社長・専務が外出先からでも効率良く通話できることで意思決定、
情報共有スピードが上がり営業効率アップ！



改善事例②

お客様業種：建設業

- きっかけ：ビジネスホン更改の際、社内から携帯電話への発信が多いことが判明。
日中は数名の事務員以外全員現場に出ており、社員の携帯電話への伝言目的での通話が多かった。
- 導入内容：社内宛にかかってきた電話をそのまま現場にいる社員のスマートフォンに転送する仕組みを導入。
- 導入効果：お客様へ折り返しのアナウンスをせずそのまま取り次ぐことが可能になり、業務効率アップ。
さらに社員携帯電話への発信にかかっていた通話料金の削減効果も。



改善事例③

お客様業種：コンピュータ関連機器販売

きっかけ：ビジネスホン更改に合わせ、現在社員が利用しているスマートフォンを有効活用する方法を検討。

導入内容：既存で利用しているスマートフォンを新しいビジネスホンの内線端末として活用する仕組みを採用。

導入効果：使い慣れたスマートフォンをビジネスホン内線端末として利用。
既存資産を生かして通話コスト削減を実現できた。
さらに外出の多い社員はスマートフォンのみ利用することにより固定電話台数を削減し、初期導入コスト削減効果も。

